

襲ぎ、諸職に歴事して功あり、俸を増すこと三次にして三百五十石に至つた。天保三年正月四日歿する時六十一。自ら蓋して石頂軒昨鬼東中居士といふたのは、その號を集めたものである。

センビヨウキハン 占病規範 二冊。井上敦親著。周易の卦爻象を以て、病候の大略を断ずる占術を記したるもの。藩士關重秀の序があり、自序に文化十三年加賀井上敦親とある。この著者には、尙周易翼傳・易學發蒙・古易又言解・易學晴雨考等がある。

センブクジ 專福寺 石川郡中奥郷に在る部落。郷村名義抄に、往古此の所に專福寺があつたからの村名であるとする。

センブクジ 泉福寺 羽咋郡寶達に在つて、眞宗東派に屬する。

センブクジ 泉福寺 鹿島郡芹川に在つて、眞宗東派に屬する。

センブクジ 善福寺 金澤材木町に在つて眞宗東派に屬する。越前藤島超勝寺如蓮玄慶の四子順慶之を石川郡大桑に建て、昌胤・教勝相襲いだ。眞享二年の書上に、當寺の開基を本願寺存如の末子順光とするものは誤である。後慶長六年寺を今の地に移した。世に之を大桑善福寺と稱する。

センブクツネタダ 千福經忠 通稱久太夫。元祿十一年養父友丞の遺知五百石を得て大小將に班し、會所奉行を經、享保十二年政所附物頭並として百石を加へ、遂に大組頭に至り、延享二年七月朔日六十九歳を以て歿した。

センブクヨシハル 千福義春 通稱長左衛門。その父は越前の人足利式部大輔の男千福遠江。天正十二年前田利長に仕へ、千五百石

を領して足輕頭となり、一たび浪人の後又歸參し、五百石を受けて足輕頭に復し、寛永十四年歿。子孫七代八十吉に至り、幼少で祖父久太夫經忠の祿三の一を襲ぎ、延享三年早世して断絶した。

センブホウエ 千部法會 藩政の時三月十三日から廿二日に至る間には、城下寺町の日蓮宗寺院に千部法會があり、四月八日から十七日まででは卯辰の日蓮宗寺院に同じく千部法會があつた。この法會の後には大海供養が行はれた。

センボウジ 善法寺 羽咋郡赤住にあつて、眞宗東派に屬する。

センボンマツ 千本松 江沼郡小坂に在つた。江沼志稿に、この村領に千本松といふ女松があり、根元の廻り五尺八寸、乾木廿一本、高さ二丈許、枝々繁茂し極めて細葉であると記する。

センミヨウ 千妙 ↓シラヤマキ 白山記(二、著者)。

センミヨウ 宣明 眞宗東派の僧。圓乘院と稱した。越中礪波郡小院瀬見の産。初め金澤に出で、木倉屋長右衛門に仕へ、その檀那圓長寺の周旋により河北郡八田道場(今の法圓寺)の養子となり、十八歳高倉學寮に入つて學んだ。後天明七年越中高岡の開正寺に住し、寛政三年擬講となり、五年嗣講に進み、文化八年講師に陞つた。文政四年五月寂、享年七十二。宣明諸經を究め、特に俱舎に詳しかつたので、世に俱舎宣明と言はれ、講説する所が多い。

センミヨウ 禪苗 ↓ドンズイセンミヨウ 曇瑞禪苗。

センミヨウイン 善妙院 金澤末廣町に在つて、日蓮宗に屬する。明治十一年武藏二本榎承教寺塔中の善妙院を移したものである。

センミヨウジ 專明寺 羽咋郡今田に在つて、眞宗東派に屬する。

センユウ 宣祐 ↓ニョジヨウ 如乘。

センユウ 禪雄 ↓ダイエンゼンユウ 大圓禪雄。

センユウジ 專融寺 石川郡上辰巳に在つて、眞宗東派に屬する。もと羽咋郡地頭町に居たが、明治廿五年今の地に移つた。

センヨトウロク 禪餘套錄 一冊。正徳四年大乘寺卍山著。阿難師子付法考、片岡飢人考等の如く、佛門の雜事に就き考證したもの。

センリユウ 潜龍 ↓シユウザンセンリユウ 周山潜龍。

センリユウジ 泉龍寺 金澤大樋町に在つて、眞宗東派に屬する。もと河北郡神宮寺村に在つたが、明治七年今の地に移つた。

センリユウジ 泉龍寺 羽咋郡子浦に在つて、曹洞宗に屬する。金澤寶圓寺巨海匡津の隠寮で、安永八年之を建立し、前田重教の位牌を安置した。能登誌に「子浦村貳町許山手に、蓮華峰といふに、泉龍寺といふ禪宗の新寺建立あり。是は金澤寶圓寺隱居巨海和尚、近年開基ありて、泰雲院殿の御影堂あり。」とある。

センリユウジ 泉龍寺 鹿島郡府中に在つて、曹洞宗に屬する。寺記に、元和六年靈泉寺七代湛翁の創立とする。

センリユウジ 專隆寺 羽咋郡吉崎に在つて、眞宗東派に屬する。

センリユウジ 仙龍寺 石川郡松任に在つて、眞宗東派に屬する。

て、眞宗東派に屬する。明治十二年六月寺號の公稱を許された。

センリユウジ 潜龍寺 石川郡小柳に在つて、眞宗東派に屬する。明治十三年六月坊號の許可を得、三十一年今の地に轉じ、三十四年十一月寺號に改めた。

センリユウジ 善隆寺 金澤野田寺町に在つて、惠光山と號し、日蓮宗に屬する。寺記に、當寺の開祖は立像寺三代日淳の弟子善光坊で、寛永二十年に立像寺境内に草庵を建て、後慶安二年京都立本寺の末寺となつて寺號を受けたとある。

センリユウジ 善龍寺 鳳至郡輪島に在つて、眞宗東派に屬する。

センリヨイツトク 千慮一得 七冊。有澤致貞が延享・寛延間の著で、専ら軍制を論じたものである。

センリヨウイン 善良院 加賀藩主第六代前田吉徳側室石川氏の法號。詳しくは善良院清心日芳大禪定尼。

センリンジ 善林寺 石川郡四十萬の土人の口碑に、昔この村の領に止觀寺・善林寺とて、何れも天台の佛閣があつたと傳へるが、善林寺の文字は確かでない。

センリンジリヨウ 禪林寺領 河北郡小坂庄が、京都禪林寺に寄進せられたことは、永仁七年三月の龜山天皇起請文に見える。

ソウ 會宇 江沼郡山中谷に屬する部落。